令和三年度
三宅村立三宅中学校
学校だより

第 14 号
令和 3 年 7 月 1 日発行
校長　小澤　秋仁
東京都三宅島三宅村伊豆 470
TEL 04994-2-0049
FAX 04994-2-1376
http://miyake-chu.sakura.ne.jp/

聖なる月　ラマダーン

副校長　櫻井　勉

約２０年前、派遣教員としてアラブ首長国連邦(ＵＡＥ)のドバイ日本人学校に勤務していました。

雨はほとんど降らず快晴が毎日続くこと、地震が全く起こらないこと、夏場の気温が約５０度にもなること、人口の８割は私たちのような外国人労働者であることなど、気候や環境については驚きの連続でした。

そしてご存知のようにＵＡＥはイスラム教の国なので、特有の習慣があります。三宅村の村内放送と同じようなボリュームで、礼拝の時間を告げる「アザーン」という詩吟のような呼びかけが１日５回流れます。巨大なスーパーでは近隣諸国産の野菜・果物から日本の調味料や冷凍食品まで何でも揃いますが、豚肉だけは「Pork　for　Non-Muslims」と書かれた奥まったスペースでひっそりと売られています。

イスラム教の祝祭日は権威ある宗教学者が月の満ち欠けを目視して始まりを判断するので直前にならないと決まりません。我々日本人学校の教員も「休校日のスタートは今日か明日かどっち？」と非常に気をもんだのをよく覚えています。

そんなお国柄でもやんちゃな少年たちはいるもので、おなじみの白い民族衣装(ディスターシャ)の中高生たちが日本人学校の前にバイクで乗りつけ、児童生徒をからかったり、ゴミを投げ込んだりして大笑いしながら去っていく、なんて光景もよく見たものです。

イスラムの習慣の中で、日本人が一番奇異に感じるのはラマダーンと呼ばれる「断食月」でしょう。「過酷な修行」といったイメージが強い断食ですが、飲食していけないのは日の出から日没までで、病気の人、妊婦、授乳中の母親や幼い子供などは対象外、私たちのような外国人に強いることもなく、思いやりで包まれたお祭り的要素も含んだ行事なのです。人々に無料で食事を振る舞う特設会場があちこちに開設され、日没後は深夜までパーティのような賑わいが続きます。ちなみに国内消費はこの時期が最も上がるそうです。

教育目標

「ふるさとの発展に進んで貢献する生徒の育成」

1　目標をもって意欲的に学ぶ生徒
2　人間性・社会性をはぐくみ、相手の立場に立って行動する生徒
3　心身ともに健康で明るい生徒

さて、敬虔なイスラム教徒は別として、前出のような「やんちゃ少年」たちならこんな窮屈な戒律には従わないはずだと、日本のやんちゃ少年たちにかなり苦労してきた私は予想していました。ところが、その予想は見事に外れ、少年であっても誰一人としてラマダーンのルールから外れるような人は見当たりませんでした。

強制や罰則の力ではなく、「信じる力」が大きなバリアのように国全体を包み込み、誇りと連帯感が我慢すらも喜びに変えていく様子を見て、「宗教」に対する印象も大きく変わりました。同時に、「今の日本で、一つの目的に向かって、みんなで心を合わせて何かを我慢するなんて果たしてできるだろうか。」と敗北感にも似た気持ちになったことを覚えています。

最近では、繁華街での人流増加や路上飲みなどについてのニュースを見るたびに「ラマダーン」を思い出し、「どうしたら、本当に必要な時に、みんなが『思い』と『行動』を同じ方向に向けられるようになるのか」と考えさせられます。答えは簡単には見つかりませんが、「教育」が重要なカギを握っていることは確かでしょう。

ところで、非常に重要な「日没」のタイミングはどのようにして人々に伝えられると思いますか。

答えは「大砲」です。一度、興味本位でその瞬間を見ようと、１０メートルほど離れた場所で気楽に待っていました。すると発砲の瞬間に体が浮き上がり、耳鳴りでしばらく周りの音が聞こえなくなるほどの威力でした。その直後、任務を終えた警察の人たちは大砲の横にカーペットを敷き、楽しそうにラマダーン明けの軽食(スフール)を食べていました。これもまた、いい思い出です。

7･8月の生活目標

1学期を振り返り、生活リズムを整え、有意義な夏休みを過ごそう

7･8月の保健目標

夏の健康生活を考えよう

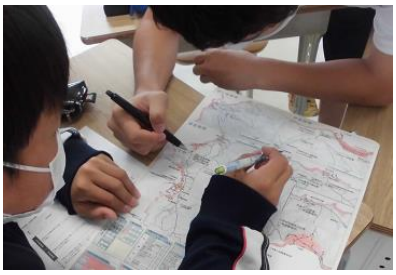
主体的に考える「セーフティ教室」(6月18日)

縦割りの６グループに分かれ、ＳＮＳの「利便性」「危険性」「トラブルに巻き込まれないためには」について意見を出し合いました。

多くのグループで、節度をもった利用の大切さが挙げられており、ＳＮＳの危険性に対する意識の高まりが感じられました。

「津波に備える」(6月21日)

６月の安全指導は「津波時の避難」がテーマでした。



警報の種類や危険度についての話を聞いた後は、居住地区ごとに分かれて、それぞれの避難所の場所や危険な区域についてハザードマップを見ながら確認しました。日頃から、「もしも津波警報が出たらどこへ避難するか」について「自宅にいるとき」「学校にいるとき」などのケースに分けて心の備えをしておくことが大切です。

シーカヤック体験
6/23:3年生　6/28:1年生　6/29:2年生

昨年は実施できなかったシーカヤック体験を、伊ヶ谷大船渡港で実施しました。

２年ぶりのシーカヤック体験となった３年生たちの見事なパドルさばきと、曇り空の下でもキラキラと輝く表情がとても印象的でした。

道徳地区公開講座(6月26日)

三宅中学校初代校長の冨田広先生を講師に迎え、「地球から出された宿題～ＳＤＧｓ達成を目指す三宅島の道徳教育～」と題した講演会を開催しました。

当日１、２校時には授業公開を行い、保護者やご家族に約１年半ぶりに授業の様子を参観していただくことができました。

午後は小中高合同で冨田先生を講師として教員研修会を開催し、持続可能な社会の担い手となる児童・生徒を育てるために学校教育が担うべきことについて学びました。

職場体験についてのお知らせ

５月実施予定から延期していた２年生の職場体験を７月６日(火)から９日(金)までの４日間で実施する予定です。

お世話になる事業所は以下の通りです。(敬称略)

・菊地農園　・正大　・ペンションサントモ
・三宅島警察署　・三宅支庁　・三宅島自動車運輸

令和3年7月8月　主な予定

１日(木)	面談週間始(12 日まで)
３日(土)	女子ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ部大会出場
４日(日)	男子ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ部大会出場
５日(月)	全校朝礼
６日(火)	２年職場体験始(９日まで)
７日(水)	⑥カット 14:45 下校
１２日(月)	生徒朝礼 ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ観戦前検診
１３日(火)	全校道徳
１４日(水)	デイキャンプ(大久保浜)
１５日(木)	聖火リレー見学 専門委員会
１６日(金)	中央委員会
１８日(日)	吹奏楽部演奏会(ＰＭ)
１９日(月)	大掃除
２０日(火)	終業式
２１日(水)	夏季休業日始 野球部大会出場
２７日(火)	ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ観戦出発
２８日(水)	ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ観戦(柔道)
２９日(木)	ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ観戦帰島

オリンピック観戦については都教委からの連絡があり次第お知らせします。

※スクールカウンセラー来校予定日
７(水)・８(木)・１３(火)

8/26(木)・27(金)・30(月)・31(火)
夏季学習会・水泳指導